

●アーティスト資料（ゲストアーティスト）



SECOND PLANET：福岡県在住の外田久雄（1959年福岡県生まれ）と宮川敬一（1961年福岡県生まれ）によって1994年に結成されたアーティストユニット。結成以来、様々な領域の人々とコラボレーションを行っており、映像、写真、音、インタビュー、テキスト、インターネット、絵画などを使用してインスタレーション、映像作品、オンラインプロジェクト等を制作している。

・作品紹介

日本の女性のフォーチュンテラーに、1987年2月22日に死亡したアンディ・ウォーホルにコンタクトを取ってもらい、死後の状況やアートの未来についてインタビューした作品。

・作品画像



●アーティスト資料 (学生)



石丸圭汰：1997年福岡県生まれ。佐賀大学地域デザイン研究科1年。絵画の制作を皮切りに、時にそれ以外のメディアや方法を応用しながら「風景」「接触」「視覚」へのアプローチを行う。

・作品紹介

最近、自分以外の誰かという存在がとても遠くなったように感じる。あんまり近くに居るとリスクがある現状もあってなのか。いや、遠くなったといっても元々誰かが近くにいたのかも分からない。今回制作したこの作品では、対象に触れるという方法でその距離と間にある物達を探っています。

・過去作品



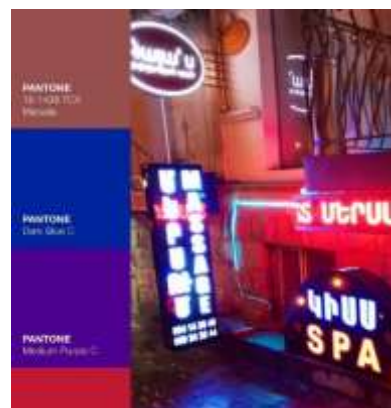


江越未悠：1998年佐賀県生まれ。佐賀大学芸術地域デザイン学部染色専攻4年。「人が何をどう感じるか」が興味の軸にあり、鑑賞者や参加者が作品と交流することによって生まれる感情から何かの気づきを得られるように取り組んでいる。染色ではなぜその素材でなければいけないのかの意味に注目して制作している。

・作品紹介

「5色だけ選んでいいよ。」と言われたら、何色を選びますか。プロジェクトでは「色」というごくありふれた、同時に、大切でもある要素に注目し、色を抽出するという体験をします。普段何気なく見ている景色や、思い出のある写真から選ばれた「色のパレット」を集めました。

・プロジェクト途中経過



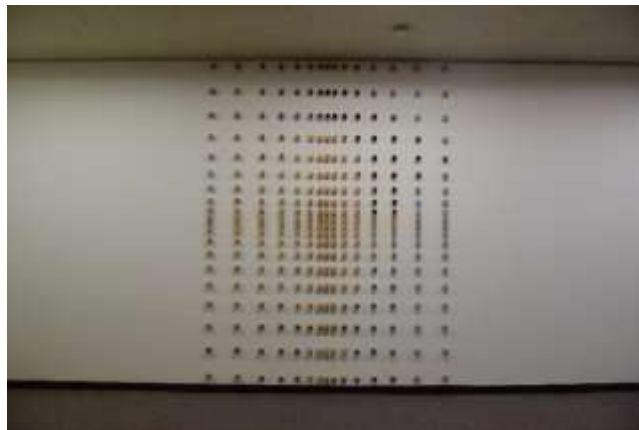


松尾匠：1999年福岡県生まれ。佐賀大学芸術地域デザイン学部日本画専攻4年。主に絵画の領域で、アニメキャラクターなどの既成イメージをテーマに制作している。

・ 作品紹介

既成イメージやそれを扱う行為を通して、人と人が画像を介して行うコミュニケーションについて考えたい。

・ 過去作品



・ プロジェクト途中経過





坂田空：1998年佐賀県生まれ（北海道出身）。佐賀大学芸術地域デザイン学部視覚伝達デザイン専攻3年。休学をきっかけに社会問題に興味を持ち作品にも影響される。なるだけ楽しい作品を作りたいと思っている。デザインしないデザイン専攻生。

・作品紹介

古くから日本では、作り手の常在菌を使った味噌作りが行われていました。今回は、味噌の中に参加者の常在菌を入れてもらい、それを醸（かも）します。「味噌の中で、私たちは出会う」をコンセプトに、常在菌味噌コミュニティをつくる作品です。私たちはこの時代に、菌として味噌の中で出会うのです。

・プロジェクト途中経過





カドベヤ：佐賀大学芸術地域デザイン学部ミクストメディア専攻 2 年の宇野のどか（2000 年大分県生まれ）（写真左）と同学部有田セラミック専攻 2 年の川崎由梨子（2000 年熊本県生まれ）（写真右）のユニット。大学で出会い、今回初めて共同での制作を行う。ユニット名は作品イメージの「秘密の空間」と制作の拠点とした川崎の自室に由来する。

・作品紹介

人間が匿名という機能を使い社会に関わることで問題が生じる度、「匿名性という保証」や「社会における匿名性」のあり方について問われてきたと感じます。そこから私達は「匿名とアート」をコンセプトとし、社会に当然として存在する「匿名性」とその意義をもう一度見つめ直す活動を考えました。

・プロジェクト途中経過





竹下綾香：2001年佐賀県生まれ。佐賀大学芸術地域デザイン学部芸術表現コース1年。アクリル画を中心に「いつか何処かにあるかもしれないもの」「見えないけれどそこにあるもの」について制作を行う。自身の見た夢を形にすることが多い。

・作品紹介

型を抜き取られ、中身を喪失した張り子は「気配」そのもの。今回展示するのはそんな張り子を用い「喪失と気配」をコンセプトにした作品です。気配を「見る」経験を通じて、いつもとは違った風景の感じ方をご提示します。

・過去作品



・プロジェクト途中経過

